

附属図書館蔵本分館改修披露式典

昨夏から行われていた附属図書館蔵本分館の改修工事が終了し、5月22日にリニューアルオープンしました。同日行われた記念式典では、香川学長らによるテープカット、施工業者への感謝状の贈呈が行われました。

リニューアルオープンした附属図書館蔵本分館は、閲覧室等の座席数を354から454に増やし、より多くの利用者に対応できるようになりました。また、個別の学習スペースに加えて、グループ学習のためのスペースも増えました。パソコンに接続して簡単に操作・投影できる小型プロジェクター設備やWEB画面を表示しながらホワイトボードのように利用できる機器等、少人数のディスカッションに便利な設備も多く導入されています。

今回のリニューアルは、静かに本を読むスペースを確保しつつ、少人数学習のための環境を充実させることで、利用者の様々なニーズに合った図書館とすることを目的としています。



香川学長（右から3番目）らによる
テープカット



サービスカウンターは明るくなりました



大型タッチパネルに映されたWEB画面
ですが、ホワイトボードのように文字
を書くこともできます



快適な少人数学習スペース

リニューアル後サービススペースは、1.5倍の広さに、電動集密書架を導入して資料の収容能力は1.1倍になり、ユニバーサルデザインを心がけた使いやすい図書館に変わりました。

1階はラーニング・コモンズやリフレッシュコーナー、サービスカウンターを中心としたアクティブゾーン。2階は専門図書が充実している生命科学閲覧室、広い分野の図書を集めた中央閲覧室、講習会にも利用できるマルチメディアルームがあるアカデミックゾーンです。

センサーやタイマーを利用し、省エネ型設備を取り入れて時間や場所に合わせた多様なサービスが可能となりました。



蔵本分館の改修工事について祝辞を述べられる香川学長



熱心にプレゼンをご覧になる出席者のみなさま



記念式典の開催も可能なミーティングルーム



グループ学習支援機器



電子黒板を用いたプレゼンを実演



社会福祉分野など幅広い分野の図書が並んだ中央閲覧室



集中して勉強できる北学習室



グループ学習室